［A］産業革命

蚕の繭 —製糸業→ 生糸（絹糸） —絹織物業→ 絹織物（絹布）

綿花（綿） —紡績業→ 綿糸（木綿糸） —綿織物業→ 綿織物（綿布）

## 背景

［松方財政］

1881年～松方財政（デフレ政策を推進）

①寄生地主の成長→資金を株式に投資

②貧農の窮乏化→安価な労働力を提供

③銀本位制の確立（1886）→紙幣価値・物価が安定し，銀行の金利が低下

↓

1886年　企業勃興（会社設立ブーム）

→中心＝紡績・鉄道業

1890年　最初の恐慌（企業勃興の反動）

⇓

＜日清戦争後に金本位制へ移行（1897）＞

①日露戦争に備えた軍備拡張のため欧米から軍需品など外貨を輸入

②銀の下落（銀安）＝円安・ドル高（輸入不利）

［日清戦争後］

1897年　貨幣法制定〔松方正義②内閣〕

→金本位制を確立

日清戦争の賠償金が元手

1円金貨＝金0.75gを含む

1ドル金貨＝金1.5gを含む

1900年　資本主義恐慌（好景気の反動）

政府が設立した各産業への資金供給銀行

［特殊銀行］

横浜正金銀行（1880）（貿易金融銀行）

1880年に設立→1887年に特殊銀行となる

日本勧業銀行（1897）（農工業金融銀行）

日本興業銀行（1902）（産業資本金融銀行）

農工銀行（1898）（各府県に設立）

その他の特殊銀行…台湾銀行・朝鮮銀行

［日露戦争後］

1904年　日露戦争（戦費は17億円）

外債（7億）・内債（6億）で負担

↓

1907年　明治40年の恐慌

日露戦争後の反動恐慌

↓

1908年　戊申詔書（節約と勤勉を説く）

1909年　地方改良運動（内務省中心）

持株会社を中心に系列企業を一族で経営（もと政商が多い）

［財閥（持株会社が中心）］

三井（三井合名会社）★江戸時代の両替商

三菱（三菱合資会社）★岩崎弥太郎が創始

住友（住友総本店）★伊予別子銅山を経営

安田（安田保善社）★太政官札の買取で巨利

## 製糸業

| 第一次産業革命（日清戦争前後＝軽工業中心） | 第二次産業革命（日露戦争前後＝重工業中心） | 財閥の多角的経営（コンツェルン型） |
|---|---|---|
| ①原　料＝国産の繭（農村の養蚕業を基盤）<br>②輸出先＝アメリカ<br>③製糸技術<br>座繰製糸（在来の技術）→器械製糸（フランスの輸入機械を日本型に改良）<br>人力　機械 | 1894年<br>座繰製糸生産量＜器械製糸生産量 | 1909年<br>生糸輸出量世界第1位（中国を抜く）<br>→外貨の獲得に貢献大 |

## 紡績業

①原　料＝輸入綿花（中国産→インド産）→日本郵船会社がインドへのボンベイ航路を開設（1893）

②輸出先＝中国・朝鮮

③紡績技術（P60へ）

最大手の運輸会社（P60）→造船奨励法（1896）→航海奨励法（1896）

手紡 → ガラ紡 → ミュール紡績機 → リング紡績機

人力　（臥雲辰致が発明）　（イギリス製機械紡績）　（アメリカ製機械紡績）

［大阪紡績会社］

①渋沢栄一が1882年に設立し，1883年に操業

②英国のミュール紡績機を採用（動力は蒸気力）

→1万錘規模の紡績工場（従来は2000錘）

③昼夜二交代制の24時間操業（深夜業の採用）

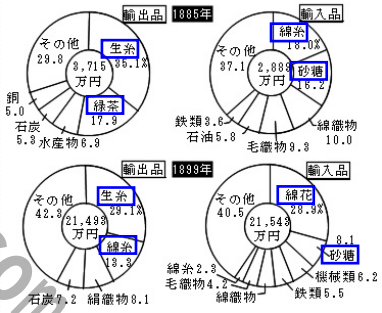
④のち三重紡績と合併→東洋紡績会社（1914）

［政府の奨励策］

綿糸輸出関税撤廃（1894）

綿花輸入関税撤廃（1896）

1890年　綿糸輸入量＜綿糸生産量→1897年　綿糸輸入量＜綿糸輸出量




※砂糖輸入の大半は台湾

＜植民地貿易＞

台湾・朝鮮から米などを移入（輸入）

台湾・朝鮮には綿糸・綿布を移出（輸出）

## 綿織物業

1885年　綿布輸入量＜綿布生産量→1909年　綿布輸入量＜綿布輸出量

手織機（飛び杼を取り入れて改良）→国産力織機（豊田佐吉が発明）

人力　ジョンニケイ（英）が発明　機械

## 鉄道業

1881年　日本鉄道会社（上野～青森間）→1906年　鉄道国有法〔西園寺公望①〕

華族が出資した最初の民営私鉄会社→金禄公債証書（1876）が資金

→5年後に換金できるので

1889年　東海道線全通（東京～神戸間）

1889年　官営の営業キロ数＜民営の営業キロ数

↓

私鉄17社を買収→90%を国有化

日露戦争後，戦時に際しての物資輸送をスムーズにするため制定

## 鉄鋼業・機械工業

1901年　八幡製鉄所（官営）

技術＝ドイツに依存

原料＝清の大冶鉄山（鉄鉱石）

福岡の筑豊炭田（石炭）

満州の撫順炭田（石炭）

1907年　日本製鋼所（民営）

三井とイギリス会社が提携して室蘭に設立された兵器製造会社

1906年　池貝鉄工所（民営）

アメリカ式旋盤の完全製作に成功

物を削るための工作機械

［○○金属（株）］

出資者の購入する株によって運営

株を買収・独占

［○○化学（株）］

出資者の購入する株によって運営

株を買収・独占

ex. 三井合名会社＝持株会社（財閥が経営）

物産・不動産など他の産業にも進出して多角的経営する形態＝コンツェルン

©shinkenkaiweb.com ユトレ（無料版）